

様式16. 3-2-1 (バルク様式4-2-1)

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙2-1)

1. バルク供給に係る技術上の基準に対応する事項

規則19条	項 目	対 応 事 項	添 付 書 類	
1号 (貯蔵能力 千キログラム未満)	イ	液 取 入 バ ル ブ	①試験合格品 ・ ②大臣認定品	
	ロ	ガ ス 取 出 バ ル ブ	①ガス放出防止装置(1. 試験合格品・2. 大臣認定品) ②緊急遮断装置(1. 試験合格品・2. 大臣認定品)	
	ハ	液 取 出 バ ル ブ	①ガス放出防止装置(1. 試験合格品・2. 大臣認定品) ②緊急遮断装置(1. 試験合格品・2. 大臣認定品)	
	ニ	均 圧 バ ル ブ	①有(1. 試験合格品・2. 大臣認定品) ・ ②無	
	ホ	液 面 計	①試験合格品 ・ ②大臣認定品 方式: _____	
	ヘ	過 充 填 防 止 装 置	①試験合格品 ・ ②大臣認定品	
	ト	付 属 機 器 の 保 護	プロテクター厚さ _____ mm	
	チ	警 戒 標	表示内容:	施工後写真
	リ	緊 急 連 絡 先 の 表 示	表示内容:	施工後写真
	ヌ	腐 食 防 止 措 置	1. 錆止め塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 2. 上塗り塗装 塗料の種類 _____ 膜厚 _____ μm 3. 電気防しよく措置 (地下貯槽) ①有(マグネシウム _____ kg × _____ 本) ②無	施工時写真
	ル	スカート又はサドル等の設置	①スカート ・ ②サドル	施工後写真
	ヲ	基 礎	地盤面からの高さ _____ cm	施工後写真
	ワ	車輻が接触しない措置	措置方法:	施工後写真
	カ	安全弁放出管の設置		施工後写真
ヨ	2m以内の火気をさえぎる措置及び屋外設置	敷地境界線までの距離 _____ m 措置方法:	構造図	
タ	常に40℃以下に保つ		構造図	

様式16. 3-2-2 (バルク様式4-2-2)

設備工事 (バルク容器) 届書 (別紙2-2)

規則19条		項目	対応事項	添付書類
2号 (貯蔵能力 千キログラム 以上三千キログラム 未満)	イ	保安距離	用途地域等 (①工業専用地域・②工業団地 ③その他の地域) 第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m 敷地境界線までの距離 _____ m 構造壁等の有無 ①有 ・ ②無	設置場所付近の 配置図 (斜角距離を含む) 貯蔵設備の構造図 (障壁の構造)
	ロ	火気を取り扱う施設距離 及び液化石油ガスの流動 を防止する措置	火気を取り扱う施設距離m 敷地境界線までの距離m 液化石油ガスの流動を防止する措置	遮へい板等の 構造図及び配置図
	ハ	屋根又は遮へい板	材質:	構造図
	ニ	消火設備の設置	消火器の個数 _____ 個 消火器の能力A-()B-()	設置場所の位置図
	ホ	規則19条1号イ~カ までの基準に適合	(別紙1-2)	
4号	貯槽は漏洩がないこと	試験圧力 _____ MPa		
5号	ガス漏れ検知器の設置 常時監視システムと接続	常時監視システム ①有 ・ ②無 常時監視装置設置場所 住所 _____ 名称 _____		
6号	高圧ガス配管内の液状液化 石油ガスの滞留防止	措置方法:	施工後写真	
7号	規則第18条第4~7号, 第9~16号 第18~22号の基準に適合	(別紙3)		
8号	供給管の耐圧試験	耐圧試験圧力 貯槽~調整器 _____ MPa 調整器~メータ _____ MPa 一次調整器~二次調整器 _____ MPa		

様式16. 3-3 (バルク様式4-3)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙3)

2. 供給状況等

高圧部	主な管の材料			
低圧部	露出部	主な管の材料		
	埋設部	主な管の材料	深 さ	m
	ピット	①有 (図面に明記すること。) ・ ②無		
供給	調整器	①自動切替式 (1. 分離型・2. 一体型) ②2段減圧式 (1. 分離型・2. 一体型) ③単段減圧式	能 力	kg/h
	メーター	①マイコンⅡ ・ ②C ・ ③B ・ ④L ・ ⑤S ⑥SB ・ ⑦その他 (), _____ 号		
状況	ガス漏れ警報器連動遮断装置	①有 ・ ②無:		
	耐震自動ガス遮断装置	①メーター内蔵 ・ ②感震器連動		
	ガス漏えい検知装置	①有 (1. 流量検知式・2. 圧力検知式・3. 流量検知圧力監視型) ②無		
	気化装置 (添付書類)	①有 (形式 _____, 能力 _____ kg/h) ・ ②無 (認定書の写し)		
消火器	能力単位 A- (), B- (), 本数 () 本			

3. 充てん設備に係る事項

項 目	対 応 事 項	添 付 書 類
充てん事業者	名称 _____	
充てん設備の種類	①規則第64条第1項に基づく設備(新型) ②規則第64条第2項に基づく設備(従来型)	
車 輛 登 録 番 号	登録番号 _____	
貯蔵設備の記号及び番号	記号 _____ 番号 _____	
許可番号及び許可年月日	許可番号 _____ 許可年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日	
車 輛 停 車 位 置	第1種保安物件までの距離 _____ m 第2種保安物件までの距離 _____ m	停車位置付近の図面

様式 16. 3-4 (バルク様式 4-4)

設備工事 (バルク供給) 届書 (別紙 4)

4. 設備士等

設備士名		設備士免状番号	県 No.
設備士再講習受講年月日	年	月	日
ポリエチレン資格者氏名	資格番号		
施工後の表示	①有・②無	施工完了年月日	年 月 日
供給予定販売事業者	①有 () ・ ②無		

5. その他の添付書類

1	現地への案内図 (最寄り駅から所在地までが確認できるもの)
2	敷地配置図 (敷地内の容器置場の位置と付近の状況を示す図面)
3	保安距離図 (貯蔵量 1 トン以上の物件に限り必要。容器置場からの保安距離 (斜め距離含む) が確認できる図面)
4	容器置場の構造図 (市販ボンベ庫0) 使用の場合は製造元の仕様書等でも可)
5	供給管の配管図
6	施工設備士の免状の写し
7	気密試験結果 (自記圧力計の記録された用紙の写し) ※中圧部分がある場合は中圧部分の試験結果も必要